

第1回FFミーティングの検討経過

1. 庁舎跡地エリアネーミングコンセプトの検討

庁舎跡地エリアのネーミング（公募）コンセプトを検討するにあたり、多くの皆様から跡地開発に対する思いや期待を伺いました。

第1回FFミーティングにおいても、多種多様なご意見をいただいたところ、コンセプト検討の素材として、大きく次のようなカテゴリーで整理を行いました。

自分らしく

すべての人が楽しめる

他のまちのマネを
するのではなく
池袋らしく

小さなコミュニティが
活気あるまち

個人商店が元気なまち

人間くささを失わない

本来の姿を残しつつ、
より多くの人が来るように
変わるまち

チャレンジ

新しいことに
チャレンジしやすいまち
許される場

夢が叶う舞台

来れば新しい発見、
新しいヒントがある

新しい文化の発祥

自然に人が集まるまち

常識を破る行政
常識を破る企業

元気をチャージ！

トレンドを生み出す

最先端のものや
一流の人が集まる

池袋発信のものが
日本中、世界中に広がる

池袋にしかないものを
売りにしていく
育てていく

一流の化学変化

ハレもケもあって
ハレ多め！

最新の流行だけでなく
地域の魅力に付加価値を
つけていく

誰にも愛され寛容な

行きやすいし、
住みやすいし、
許されるまち

公園のようなまち
心がひろいまち

女性にも、子どもにも、
アニメ好きな若者にも
愛されるまち

発信力のある人
ばかりが集まる
まちでなくていい

注目されるだけではダメ
暮らしを豊かにするまち

※上記以外にもたくさんの活発なご意見をいただきました。ご協力ありがとうございました。

2. コンセプトストーリー

皆さんからいただいた様々な思いや国際アート・カルチャー都市構想の基本コンセプトをエッセンスとして凝縮しながら、ひとつのコンセプトストーリーとして取りまとめました。

《国際アート・カルチャー都市構想の基本コンセプト》

「まち全体が舞台の誰もが主役になれる劇場都市」



庁舎跡地エリアネーミングコンセプトストーリー

1000万のきらめく物語が生まれるまち

色と形の思いがけない出会いが無限の華を咲かせる万華鏡のように
1000万の出会いが1000万の物語を生み出す
8つの劇場からまちへとあふれ出す感動の余韻
その舞台に立つのは「私」
誰もが自分らしく主役になれる特別な場所
さあ出かけよう、ちょっぴりおめかしして
新しい出会いを探しに、新しい「私」を見つけに

3. 愛称の決定 ～「Hareza (ハレザ池袋)」～

1月1日～2月7日まで、全国から合計5,000件を超える多くのご応募をいただき、建築家の隈研吾氏が委員長を務める審査委員会を経て、区長ら4人による選定委員会で最終審査を行った結果、「Hareza (ハレザ) 池袋」に決定しました。

「おめかしして出かける」「非日常を体験できる」という「ハレの場」と劇場・多くの人が集まる場所の意味の「座」を合わせています。

皆さまから多大なるご協力をいただき、ありがとうございました。